

令和8年度 佐賀市立兵庫小学校 教育課程

1 学校教育目標

あいさつ 笑顔 思いやり 心をそろえて チーム兵庫
～正しく かしく 美しく～

2 本年度の重点目標

- 心の教育の推進
- 学力の向上
- 健康・安全

3 重点取組内容

(1) 学習指導の充実

・多様な子供たちの「深い学び」を確かなものにするために、「好き」を育み、「得意」を伸ばすことに努める。・校内研究や日々の授業中で、下の3点を意識し、授業改善を行っていく。【子どもが主役の学び】
①課題の設定や教材、問いの提示や共有の仕方を工夫して、児童の学ぶ意欲を高める。また、学習の計画を立てたり学びを振り返ったりする時間を設定することで、自分の学び方や学んだことへの価値にも気付かせるようにする。(主体的な学び)
②困った時に相手の考えを自然と聞き合えるような学習形態を仕組むことで、自分たちで話し合っ解決しようという環境をつくる。また、自分の考えや思いを友達や教師、地域の方々に伝える場を設定し、自己の考えを広げ深めさせる。(対話的な学び)
③改善に向かう形成的評価を行い、学び続けようとする気持ちや再挑戦しようとする気持ちを支えることで、身に付けた資質・能力や非認知スキルを自覚化させ、自己効力感を育成する。

(2) 生徒指導の充実

・予防的生徒指導に努め、子どもが発する小さなサインを見逃すことがないように日頃から児童理解に心がけ、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底する。【WEBQU活用】・携帯やインターネット、ゲームについてのアンケートを実施し、実態を把握すると共に保護者及び児童に対して情報モラルについての啓発を行う。・自分を大切に「名前札着用」、友達を大切に「さん付け」、地域を大切に「積極的な挨拶」について重点的に指導し、社会性・規範意識を高め、ルールを守ろうとする態度を養わせる。さらに自分たちもまた、友達や地域の方々・ルールによって守られていることを認識させる。・生徒指導連絡協議会において、気になる児童及び不登校児童についての情報を共有すると共に、ケースによっては教育相談担当及び関係機関と連携を図りながら組織的に対応する。・子どもの安全確保に学校・家庭・地域が一体となって取り組む。①自転車運転時のヘルメット着用推進。②下校時刻と帰宅時刻の遵守。③避難訓練や集団下校の指導。④通学路の危険箇所や問題行動等の把握。⑤交通安全教室と安全講話の実施。

(3) 特別支援教育の充実

特別支援教育コーディネーターは、必要に応じて、保護者や関係機関に対する学校の窓口として、校内の関係者や福祉・医療機関との連絡調整を行う。また、適宜校内支援委員会を開催し、障がいの有無にかかわらず、特別の支援が必要な児童の実態把握や支援内容の検討を行う。更に、必要に応じてケース会議を開催し、配慮が必要な児童の実態把握及び指導と対応の工夫を検討し、教育支援体制の充実につなげていく。・障がいのある子どもの理解、合理的配慮について長期休業中に職員研修を実施し、職員全員で特別支援教育の視点を共通理解する。また、個別に支援を要する児童に対する教師の理解を一層深めるために、校内での公開授業や研修会を行う。・板書やノートの取り方、学習の流れの統一、教室の前面に不必要な掲示物を掲示しない等、ユニバーサルデザインを意識した授業環境や学習環境の整備を行う。・児童の実態に応じて「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」「自立活動計画書」を作成し、常に確認しながら日々の支援に生かす。【WEBQU活用】特に「個別の指導計画」の短期目標については、学校生活支援員や特別支援学級支援員と共有し、適宜評価を行いながら指導支援に生かす。・「障害のある子どもの教育支援事業」による巡回相談員、外部専門家等を積極的に活用し、充実した教育活動支援を行う。・居住地校交流や校区内の福祉施設との交流などを計画的に進め、インクルーシブ教育を推進する。